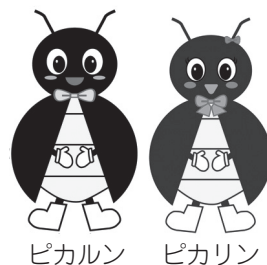


～まだまだ発展途上だ！「二条里づくりの会」～

スローガン：里山をいかし、人と自然がつながる二条



ピカルン ピカリン

〈二条のマスコットキャラクター〉

〔二条地区〕人口：517人、高齢化率：51.3%（令和元年5月末現在）

★地区の概要

二条地区は上黒谷・桂平・黒周・柏原・愛栄の5町からなり、特に、江戸期から昭和中期にかけては^{はたご}旅籠が5軒も軒を連ねた宿場町で、益田と江崎・津和野方面（畑迫鉱山）、飯浦・美濃地区とを結ぶ交通の要衝、そして物々交換の「市」が立つ基点となる街でした。隣の美濃地区との境の^{りょうしがたお}漁師ヶ峠、川登地区との境の^{き たお}木の峠を越えると、地区内は「3本の県道と1本の農道の輪」で形作られています。2つの山城と2つの川に囲まれた、ゲンジボタルの舞う里山です。

★二条里づくりの会の取組紹介

本会は、平成25年度の準備会議段階を経て、平成26年8月に3部会制で組織を設立、平成27年5月に5カ年のまちづくり計画「元気な邑づくりプラン」を策定し、益田市で第1号となる地域自治組織の認定を受けました。現在の取組の主な柱は、次の3つの部会の活動です。

〔なりわい部会〕～地域の特産物を掘り起こし、付加価値を付け販売ができる地域～

- ・「二条ふるさと便」の企画・販売や、竹チップ・竹パウダーの生産を行なっています。

〔ひと部会〕～二条の歴史、美味しい産物、人情味あふれる土地柄～

- ・田舎暮らし体験古民家住宅「つどい」の利用促進や、U I ターン者誘致活動などの定住対策や交流事業を行なっています。

〔くらし部会〕～人情味豊かな生活文化をもとにした、安全で安心な住みよい地域～

- ・ICT、IoTを活用した鳥獣対策事業や、自主防災組織設立を目指した取組を行なっています。



★地域の活性化に貢献！～特別な出来事～

本会の取組が認められ

「平成29年度中国四国地域鳥獣被害対策優良活動表彰」

「平成30年度ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰）」を受賞しました。



★鳥獣対策の取組

くらし部会では鳥獣被害を減らすため、「捕獲」ではなく「防除」を目的に鳥獣対策活動を行なっています。この活動をさらに進めていくために、昨年度、益田市まちづくり活動特別補助金を活用し「ソーラー式ネットワークカメラシステム・カメトル」と「ネットワークカメラ連動システム・おりーる」を導入しました。4月には、昨年度末から目撃情報が多かったサルをこの装置で捕獲し、発信器を取り付けて行動状況を分析し、防除活動を展開しています。今後も「里山をいかし、人と自然がつながる二条」を目指し取組んでいきます。

